

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成30年4月17日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立佐野中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数（ 238人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 73／大阪府 75／全国 76.1）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 59／大阪府 59／全国 61.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことは概ねできている。 1ー スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する（83.1/87.4） 【書くこと】 ○書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成することは概ねできている。 2ー 図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する（85.7/89.5） ○書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討することに課題がある。 4ー 意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する（55.8/62.8） 【読むこと】 ○文脈の中における語句の意味を理解することは概ねできている。 3ー 「それは掛け値のない一、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する（85.3/88.2） 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えることは概ねできている。 7ー 場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する（ハナйкаダ）（84.8/87.3） ○接続詞の働きについて理解することは概ねできている。 7二 「それでは」の働きとして適切なものを選択する（87.9/88.4）	○文脈に即して漢字を正しく書くことは概ねできているが、一部の漢字に課題がある。 8ー1 漢字を書く（紙をひもで<u>タバ</u>ねる）（66.2/79.0） ○文脈に即して漢字を正しく読むことは概ねできている。 8二1 漢字を読む（<u>模型</u>を作る）（94.8/95.7） 8二2 漢字を読む（池の水が<u>凍</u>る）（96.5/97.8） 8二3 漢字を読む（<u>技</u>を<u>磨</u>く）（97.0/98.1） ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは概ねできているが、一部課題がある。 8三イ 適切な語句を選択する（魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつもの<u>が</u>いる）（89.2/91.0） 8三ウ 適切な語句を選択する（先生が私たちに大切なことを<u>お</u>っしゃった）（86.6/88.0） 8三エ 適切な語句を選択する（彼は<u>せ</u>きを切ったように話し始めた）（29.0/29.2） 8三オ 適切な語句を選択する（意見の折り合いを<u>つ</u>ける）（55.0/61.8） 8三カ 適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、<u>ひ</u>と<u>え</u>に母のおかげです）（60.2/65.4） 8三キ 適切な語句を選択する（姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。<u>一</u>方、妹は一人で本を読むことが好きだ）（93.9/95.2） ○慣用句の意味を理解することはよくできている。 8四1 「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する（94.4/94.7） ○目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題がある。 8四2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心打たれた」のかがわかるように書く（17.7/22.3）

	○作品の基礎的な書き方を理解して書くことに課題がある。 8五 作品の助言として適切なものを選択する (47.2/54.4) ○古典の文章を現代語訳と対応させて内容を捉えることはよくできている。 8六1 『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく) (87.4/91.1) ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。 8六2 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す (とほさざるなし) (57.6/63.0)
--	--

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○質問の意図を捉えることはよくできている。 2一 二人の質問の意図として適切なものを選択する (87.1/86.8) ○話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することはよくできている。 2二 二人に続いてする質問を書く (83.6/88.3)	【書くこと】 ○目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことに課題がある。 1三 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く (13.4/13.3) ○相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことに課題がある。 3三 話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く (40.5/49.2)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	87.8	91.1		3.3
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	73.9	82.2	◇	8.3

○【話すこと・聞くこと】に関する問題は全体的によくできている。

○【書くこと】について、言葉や文の内容を理解し、そこから自分の意見を考えて書くことが苦手である。

○慣用句など、普段の生活で使わないような言葉の理解に課題がある。

○漢字の書き取りには課題はあるものの、読みに関してはかなりの割合でできている。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。
平均正答率(本校 63/大阪府 65/全国 66.1)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とやや同じであるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層に少し偏っている。
平均正答率(本校 43 /大阪府 46/全国 46.9)

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○数量の大小関係を不等式に表すことに課題がある。 2（1）「1個a kgの荷物3個と1個b kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した式を書く (24.0/41.5) 【図形】 ○折り目の線の作図と角の二等分線の関係の理解に課題がある。 4（2）△ABCを辺ABが辺ACに重なるように折った線を作図するための線を選ぶ (45.9/54.9) ○回転移動した図形をかくことに課題がある。 4（3）長方形ABCDを、点Aを中心にして時計回りに90°だけ回転移動した図形をかく (60.7/66.1) ○空間における平面と直線との位置関係を理解することに課題がある。 5（1）直方体において、与えられた線に平行な辺をかく (66.4/74.3) ○多角形の内角の和の性質を理解することに課題がある。 6（2）五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを90°に変えたときの内角が正しいものを選ぶ (68.6/75.7) ○2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解することに課題がある。 7（1）△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ(63.8/72.0)	【関数】 ○反比例について、グラフと表を関連付けて理解することに課題がある。 9（3）反比例のグラフから表を選ぶ(47.6/53.4) ○座標平面上に点の位置を示すことに課題がある。 10点(-2, 3)位置を座標平面上に示す (61.1/69.9) ○一次関数$y = ax + b$について、xの値の増加に伴うyの増加量を求めることに課題がある。 11（1）一次関数$y = 2x + 7$について、xの値が1から4まで増加したときのyの増加量を求める (39.7/45.3) 【資料の活用】 ○多数回の試行の結果から得られる確率の意味の理解に課題がある。 15（1）1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ(23.1/40.2) ○表などを利用して、確率を求めることに課題がある。 15（2）大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める(65.9/71.3)

数学B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。 1 (1) 全校生徒 300 人に対する上位 4 曲を回答した生徒の割合を求める (49.6/55.7) ○与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を、確率を用いて捉えることに課題がある。 1 (2) 放送計画で 1 日目が A, 2 日目が B になる確率を求める (37.8/43.9) 【図形】 ○発展的に考え、問題の条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことに課題がある。 4 (2) 平行四辺形 A B C D の外側に 2 つの点 E, F を取っても、四角形 E B F D は平行四辺形となることの証明を完成する (35.2/42.4)	○付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 4 (3) 平行四辺形 A B C D を正方形 A B C D に変えたときの四角形 E B F D がどのような四角形になるかを説明する (37.0/42.3) 【関数】 ○事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することに課題がある。 3 (1) 列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ (57.4/67.6)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	43.7	53.9	○	10.2
数学の勉強は大切だと思いますか	75.6	83.6	◇	8.0
数学ができるようになりたいと思いますか	84.4	92.5	◇	8.1
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	64.3	70.3	◇	6.0
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	28.1	38.9	○	10.8
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	62.1	72.9	○	10.8
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えます	57.6	69.2	○	11.6
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	59.2	70.4	○	11.2

○学習状況調査の中で全国との差が5%以上10%未満の差が3項目10%以上の差があるものが5項目と昨年度より下回り、全国との差が開いている。

○すべての項目で、全国を下回っている。

○数学の授業で学習したことが、普段の生活や社会に役立つと考えている数値が全国と比べて大きく差がある。

○数学の授業で問題の解き方などノートに書いていますかについては、考えることより作業をこなすことの方が好んでいる。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

「知識に関する問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 67／大阪府 67／全国 67.9）

「活用に関する問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや低位層に偏りがある。

平均正答率（本校 60／大阪府 62／全国 64.9）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科「活用」	特徴がみられた設問
【物理的領域】 ○光の直進や反射の幾何学的な規則性についての知識・技能を活用することに課題がある。 1（1）光の反射の幾何学的な規則性についての知識・技術を活用する（56.5/61.7） 1（2）光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明する（68.3/73.7） ○電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することに課題がある。 6（3）豆電球とLED点灯の様子と電力との関係の指摘は概ねできている（88.7/91.4） 【化学的領域】 ○実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することに課題がある。 4（2）炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘することに課題がある（36.5/44.1） 4（3）化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明することに課題がある（40.0/49.4） ○化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうか課題がある。 8（3）アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見出すことに課題がある（63.5/74.0）	【生物的領域】 ○水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用することに課題がある。 2（1）無脊椎動物と軟体動物の体のつくりと特徴に関する知識を活用することは概ねできている（91.3/86.2） 2（4）1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘する（44.3/61.3） ○蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能の活用に課題がある。 9（2）植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘するのに課題がある（87.8/88.0） 【地学的領域】 ○日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することに課題がある。 3（1）風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用することに課題がある（32.2/37.5） 3（3）台風の進路を決める条件を指摘することに課題がある（47.0/52.3） ○地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することは概ねできている。 7（3）初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識については概ねできている（91.3/94.4）

理科「知識」	特 徴 が み ら れ た 設 問
【物理的領域】 ○電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することに課題がある。 6（2）オームの法則を使って、抵抗の値を求めることに課題がある（88.7/91.4） 【化学的領域】 ○実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することに課題がある。 4（1）ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘することに課題がある（58.3/73.4） ○化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することに課題がある。 8（1）アルミニウムの原子の記号の表し方については概ねできている（83.9/83.5）	【生物的領域】 ○刺激と反応についての知識と自然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することに課題がある。 5（1）神経系の働きについての知識については概ねできている（71.3/57.2） ○蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能の活用について課題がある。 9（1）植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識については概ねできている（87.8/88.0）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	68.9	77.6	◇	8.7
理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか	47.1	55.7	◇	8.6
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	29.9	41.4	○	11.5
理科の授業では、理科室で観察や実験を行いましたか	24.8	87.1	○	62.3
観察や実験を行うことは好きですか	73.2	82.1	◇	8.9
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	43.2	58.5	○	15.3
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	56.3	72.3	○	16.0
理科の授業で、観察や実験の進めかたや考え方が間違っていないか振り返って考えていますか	44.2	59.0	○	14.8
1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいたと思いますか	60.5	73.8	○	13.3
1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	30.2	53.8	○	23.6
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	60.9	76.3	○	15.4

○ほとんどの項目で全国より下回っているが、5%以上正答率が高い設問も見られた。

○「知識に関する問題」よりも「活用に関する問題」の正答率の方が、全国との差が広がっている。

○実験を行う機会が少なかったためか、実験器具の設問の正答率が著しく悪かった。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の生徒の意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択し1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない）

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上の差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【家庭生活の様子】	自己肯定感が低く、難しいことに挑戦できていない。また、将来の夢を持っている生徒も少ない。地域行事や地域や社会の問題に関心が希薄で、地域の大人との交流も少ない。	(1) 自分には、よいところがあると思いますか <u><64.7/78.8></u> (3) 将来の夢や目標を持っていますか <u><57.2/72.4></u> (8) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <u><64.7/74.2></u> (20) 今住んでいる地域の行事に参加していますか <u><23.9/45.6></u> (21) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心が あります <u><43.7/59.3></u> (22) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える ことがありますか <u><26.4/38.7></u> (23) 地域社会などでボランティア活動に参加したことが あります <u><63.9/73.6></u> (24) 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に 勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだり することがあります <u><18.5/25.5></u> (25) 新聞を読んでいますか <u><8.0/13.9></u>
【家庭学習の様子】	普段から学校の宿題や、予習復習を行う生徒の割合は全国よりも低い。	(11) 家で、学校の宿題をしていますか <u><82.4/91.6></u> (12) 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか <u><73.5/86.8></u> (13) 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、 教科書を使いながら学習していますか <u><86.2/91.4></u>
【学校での生活の様子】	大人から認められていないと感じている生徒が多い。また、生徒間でも自分の意見を広げたりすることが苦手な生徒が多い。	(2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれている と思いますか <u><73.1/82.2></u> (54) 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深め たり、広げたりすることができていると思いますか <u><60.9/76.3></u>
【学校での学習の様子】	1, 2年の授業において、地域と関わる機会が少なかった。また、課題の解決に向けて、自らの考えを工夫して発表したり、積極的に取り組めた生徒は少なかった。	(19) 1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のこ とを調べたり、地域の人と関わったりする機会があ ったと思いますか <u><52.5/68.7></u> (52) 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に 向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思 いますか <u><60.5/73.8></u> (53) 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを 発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、 資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表してい たと思いますか <u><33.2/53.8></u>

本 校 の 取 組

◎これまでの取組

本校では、「人権尊重の精神に満ちた、心豊かな人間の育成」の教育目標の下、昨年度に引き継ぎ「互いに認め合いつながりあい高め合う質の高い集団の育成」を重点目標として教育活動を推進しています。

また、上記目標を実現させるために、「学習活動の充実」「生徒指導の充実」「人権教育の推進」「支援教育の推進」「道徳教育の充実」「健康安全教育の推進」「進路指導の充実」「環境整備の推進」の8本の柱を掲げています。

その上で、「授業改善の推進」「『レベル0』の指導を意識したきめ細やかな生徒指導」「生徒の主体的・自治的な活動の推進」の3点を重点課題として設定し、取組を進めているところです。

「授業改善の推進」については、今年度も引き続き学力向上アドバイザーとして和歌山大学教育学部准教授二宮衆一先生にご指導いただきながら指導案の検討や研究授業に取り組んでいます。

今回の調査で、「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」という回答に対し、(本校 16.4%/大阪府 24.2%)、「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」という回答に対し(本校 8.0%/大阪府 16.2%)と、自らの課題解決を行い、それを発表する能力がまだ十分でないと考えられます。ただ「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」については(今年度 21.4%/昨年度 12.2%)と一定活動の成果が見えるものもあります。

「『レベル0』の指導を意識したきめ細やかな生徒指導」については、チャイム着席や「きく姿勢」の意識等、授業規律の保持に努めています。今回の調査でも「学校の規則を守っている」という回答に対し(今年度 60.1%/昨年度 49.7%)と活動の成果が見え、府平均からも(本校 60.1%/大阪府 60.6%)と変わらない値になっています。今後もこの活動を続けていくことが大切であると考えています。

「生徒の主体的・自治的な活動の推進」については、「質の高い生徒集団」の実現こそが学力向上のための必須条件であると考えています。しかしながら、今回の調査で「自分には、良いところがあると思いますか」という回答に対して(本校 15.5%/大阪府 33.7%)、(今年度 15.5%/昨年度 22.6%)と府平均からも昨年度からも自分に対しての自信が持ていないと考えられます。ですが、「人の役に立つ人間になりたいと思う」という回答に対しては(今年度 66.8%/昨年度 57.3%)と前年より理想は高くなっています。本校では、年2回のQ-U(Questionnaire-Utilities)『楽しい学校生活を送るためのアンケート』を行うことで、学級、学年、学校集団の状況を把握し、生徒会活動や学年プログラム委員会活動、学級活動を積極的に支援しています。

◎これからの取組

前項で述べた通り、「『レベル0』の指導を意識したきめ細やかな生徒指導」については一定の成果が見える反面、「授業での『言語活動』」「生徒の主体的・自治的な活動の推進」に、やや難があるといえます。そこで本年度も「言語活動」に重点に置き「学習のめあての提示」「振り返り活動」を関連させて、新指導要領の「思考力、判断力、表現力を育成する」を実現するために授業力のさらなる向上をめざして活動を行っていきます。そのために研修等を行い課題解決に主体的に取り組む生徒の育成をめざしていきます。さらに、年3回の研究授業(道徳を含む)、教師間の公開授業週間等をおこない教員の資質向上をめざしていきます。

また、「家庭学習」についても「学校の授業時間以外の普段(月～金曜日)の勉強時間が0時間」という回答に対して(本校 10.5%/大阪府 4.9%)と家庭学習の定着が、まだ付いているとは言えない状況です。引き続き、昨年度同様「家庭学習手引き」の配布や、「宿題」の出し方に付いて職員の研修が必要であると考え、研鑽を積んでいこうと考えています。